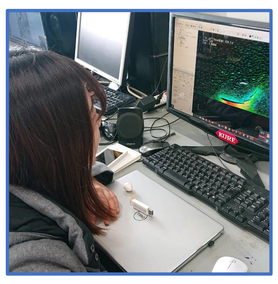
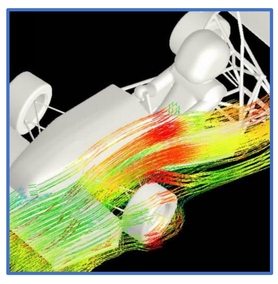
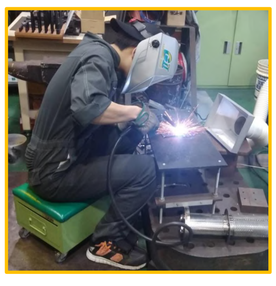
N.I.T. - Formula Project

～名古屋工業大学フォーミュラプロジェクト～

第17回学生フォーミュラ日本大会2019　優勝

2019年8月に行われた学生フォーミュラ日本大会では、国内外から100チームを超えるエントリーがある中、**総合優勝(日本一)**を獲得しました。

また、過去3年間の大会成績をもとに作成される、学生フォーミュラ世界ランキングでは、**世界2位**(2019年12月発表)を獲得しました。

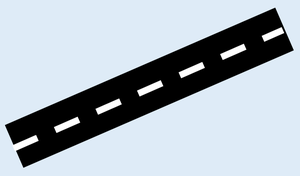
学生フォーミュラとは

学生フォーミュラでは、**レーシングカーの設計から製作までの全てを大学生で行っています**。学生フォーミュラは世界中で行われており、日本大会は、毎年夏休みに開催されます。

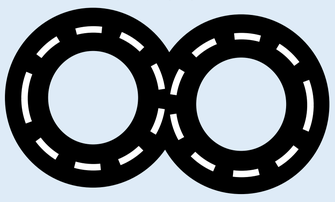
大会の審査項目は、**動的審査**と**静的審査**の大きく2つに分けられ、2つの審査での総合得点(1000点満点)で、順位を競います。速い車をつくったチームが勝つわけではなく、**“ものづくりの総合力”**が必要とされる大会といわれています。

■ 動的審査(675点)

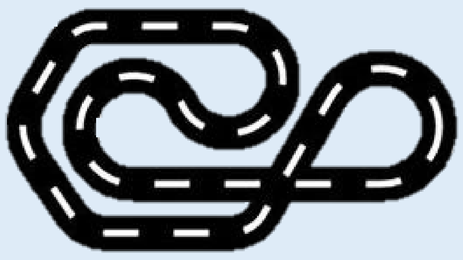
1.アクセラレーション
75mの直線



2.スキッドパッド
8の字旋回



3.オートクロス　コース1周
4.エンデュランス　コース20周
5.効率（エンデュランス時の燃費）



各種目２人のドライバーが２回ずつ走り、計４回のうちのトップタイムで競います

■ 静的審査(325点)

1.デザイン審査
ここでの「デザイン」は「設計」という意味です。
設計が理論的に行われているかどうかや、新しいことに取り組んでいるかなどが審査されます。

2.コスト審査
約1500ページにも及ぶ資料を作成し、車両の製作にかかったコストを計算します。コストの安さだけでなく、資料の正確性や、コストを抑えるための工夫なども、審査されます。

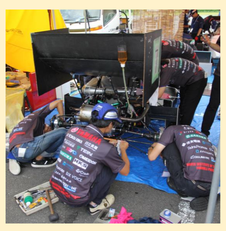
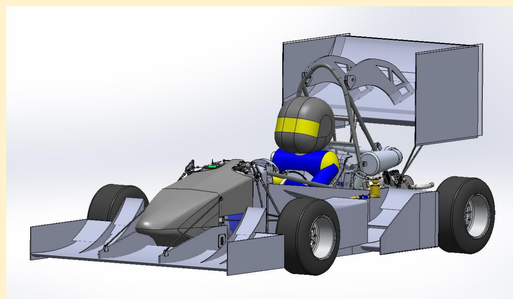
3.プレゼンテーション審査
自分達の作った車両の素晴らしさをいかに上手くプレゼンテーションできるかを審査されます。ただアピールするのではなく、誰にどうやって売るかといったことも考えなければなりません。

事前提出する資料と当日審査でのディスカッションにより審査されます

N.I.T. Formula Project について

現在、1年生～4年生までの20名(**女子3名**)で活動しています。

学内にあるガレージで、ほぼ毎日活動を行っています。金属を削ったりする作業は、大学内の工作センターという施設にある機械を使って行います。また、車両を設計・製作していく中で、自分達ではできないことがあれば、手伝ってもらったり、教えてもらえる企業を自分達で探して、協力してもらえるようにお願いをします。現在、**100社を超えるスポンサー**企業に、技術だけでなく、資金や部品の援助をしてもらっています。

1台の車を通して、**自動車の知識**だけでなく、**ものづくりの基本**や、**社会人に必要とされる力**をつけていけるように、毎日、活動に取り組んでいます。

興味がある人は、是非一度ガレージに車両を見に来て下さい！